



追悼

元日本社会福祉学会会長 高橋重宏先生を追悼する

白澤 政和（日本社会福祉学会会長、桜美林大学大学院）

本学会の元会長をおつとめいただいた日本社会事業大学学長高橋重宏先生が昨年（2019年）の12月8日にご逝去されました。

高橋先生は日本社会福祉学会の役職としては会長として3年、副会長3年を含め、通算12年にわたって理事をおつとめいただき、長年にわたって本学会の発展に寄与していただきました。享年64歳であり、これからも社会福祉の研究や実践のレベルアップのためにご指導を頂きましたただけに、ただただ残念であり、茫然とするだけであります。

先生のお人柄は誰からも慕われる温厚であり、悠揚とした風格は人を惹きつけるものがあり、教育者として多くの若き研究者や実践家を育てられました。研究面では、児童領域でのソーシャルワークに対して情熱を傾けられ、多くの研究業績を残されています。訃報に接し、1994年に出版された先生の名著『ウェフェアからウェルビーイングへ』を再度読ませて頂きましたが、先生は子どもへの人権や自己実現を保障することこそがウェルビーイングであることを訴えられ、この著から日本でもウェルビーイングという用語が広く普及していく貢献をされました。先生の残された輝かしい業績の数々は、とこしえに学会の成果として輝かしく残ることになります。

先生とは、11月25日夜に頂いた電話が最後になりました。それは、日本学術会議等での今後の対応についてでありました。ご静養中であることから、「早く元気になられて、お酒を一緒に飲みましょう」に、「早く飲みたいね」が最後の会話となりました。いつか、天国で酒宴をもちましょう。もう少しお待ちください。

先生の偉大なる業績と人格とに深く敬意を表し、心より御冥福をお祈り申し上げます。